

お子さんが「じぼが遅い」と気になる方へ

「ことばが遅い」は待ちません！

今回は小児科の部長で、発達障がいなどを含む小児神経疾患が専門の渡部承平医師に、お子さんの「じぼが遅い」と気になる場合について伺いました。



▲渡部 承平医師

すが、①一歳六か月までに指差しをしない、②二歳の誕生日までに単語が出ない、③三歳の誕生日までに二語文が出ない、です。こうしたとき、ことばが遅れる理由を考えなければなりません。

最もよく出会うのは自閉症スペクトラムやそれに近縁する状態にあるお子さんです。多くは周りに注意を払わず、人のことばを聞いていないことが原因となっています。知的障害のお子さんではことばを聞いても年齢に見合った理解や学習が進みません。また聴覚障害のお子さんは聞こえている、あるいは聞こえないといった事情があるためことばを吸収できません。表出性言語障害といって、ことばは理解しているのに幼いうちは喋ることができないという例もあります。

原因に応じてそれぞれに支援や指導が必要です。その結果普通に喋れるようになる子もいます。早い例では一歳六か月頃から介入を

「ことばが遅い」と考える目安は何か。ざっくり大根切りしま

期と実は時間が限られています。だから「ことばが遅い」は待ちません！なのです。

お子さんにことばが出ない、進みが遅いと気になる場合、まずはかかりつけの先生や当科に遠慮なくお声がけください。



社会福祉法人
恩賜財団
済生会今治病院

今治市喜田村7丁目1番6号

<https://www.imabari.saiseikai.or.jp/>

☎0898-47-2500

